

第 183 回
定例探鳥会

日時：2002 年 3 月 10 日 (日)
コース：高来神社 水道山

天候：晴れ
湘南平

今月 (3 月) と来月 (4 月) は毎年レンジャクを見るために高麗山の南側の市街地を通り水道山から湘南平に行くコースをとります、毎年やっていますが、この時期レンジャクに会うのが楽しみです、今年はずでに大磯虫窟では 2 月 22 日に初認されていたので期待大でした。

まずは化粧坂のレンジャクポイント 残念ながらいけません、次は水道山ポイントへと向かういつもの道が工事で封鎖されていたため近道を通る、こちらレンジャク出現の可能性大のコース、すぐに誰からか声が『レンジャクだー!!』出ました出ました、キズタに群がるヒレンジャクが 5 羽じっくりと見る事ができ大満足、もう大興奮です、そうですね一年に一度の出会いですから、これで探鳥会を終わってもいいような満足した時間でした。

だんだん気温が上がり暑くなって来ました、やっと山に入り 横穴古墳群まで来ると聞いた事のある怪しげな鳴き声、アララ...ガビチョウだ、とうとう高麗山にも入ってきてしまった、西部丘陵ではかなりの数が繁殖して夏鳥等のいろいろな似た声を出すのでこれから注意して鳴き声を聴かないと間違える恐れがあります、ここでマヒワも出て楽しい探鳥会でした。

参加者		参加人数 37 名 (敬称略)				
1. 平塚津矢子	2. 金子 典芳	3. 小野 肇	4. 八木 正	5. 鈴野 嘉久		
6. 福田 適	7. 鈴木 逸子	8. 星野美代子	9. 上原守美子	10. 吉田 宣子		
11. 山内 隆雄	12. 茂木 良平	13. 山田 文則	14. 早川 宏	15. 伊藤 武雄		
16. 片倉 暹	17. 紺 龍彦	18. 松下 弓子	19. 中村 豪夫	20. 清水 哲子		
21. 古賀 勝秋	22. 南 博	23. 南 那津子	24. 里見 和義	25. 里見知恵子		
26. 大坂 英樹	27. 大坂 聖子	28. 大坂 翔人	29. 大坂 研人	30. 小谷 茂雄		
31. 関口 圭	32. 石原 遼	33. 高橋 徳江	34. (田端 裕)	35. (西ヶ谷修一)		
36. (内山規矩雄)	36. (岩佐 昌夫)	37. (斎藤常實)				

見聞きした鳥		種類数 34 種 (ドバトを含む)			
1. ウ SP	2. ヒ	3. オオタカ SP	4. キジバト	5. ドバト	
6. アオゲラ	7. コゲラ	8. キセキレイ	9. ヒヨドリ	10. モズ	
11. ヒレンジャク	12. ジョウビタキ	13. アカハラ	14. シロハラ	15. ツグミ	
16. ウグイス	17. ヤマガラ	18. シジュウカラ	19. メジロ	20. アオジ	
21. カワラヒワ	22. マヒワ	23. イカル	24. シメ	25. スズメ	
26. ムクドリ	27. カケス	28. オナガ	29. ハシブトガラス	30. ガビチョウ	
(解散後)	31. ノスリ	32. ハイタカ SP	33. コジュケイ	34. ヒメアマツバメ	

平塚市で『市民の鳥』募集

平塚市では市制 70 周年を記念して『市民の鳥』を制定することになりました。市内に住んでいる人、市内で働いている人、市内で通学している人の応募により決定するということです。4 月 1 日発行の『市制 70 周年 広報ひらつか特集号』から、応募方法などを御紹介します。

市内には丘陵地の森や雑木林、海、川、干潟、広い水田地帯など、多様な自然環境があり毎年約 120 種類の野鳥が見られます。庭先に降り立った野鳥の美しいさえずりや、かわいらしいしぐさに、思わず心を奪われたことはありませんか？

市では、市制 70 周年を記念して『市民の鳥』を制定します。平塚の豊かな自然の中を飛びかう野鳥の中から、わたしたちのシンボルバードを選び、自然の大切さを考えていきましょう。

どんな野鳥がいるの？

環境審議委員で構成する『市民の鳥選定委員会』で、9 種類の候補鳥(下記参照)を提案しました。もちろん、ここに紹介した以外の鳥でも『市民の鳥』の候補になります。

市民の鳥は、応募結果をもとに『市民の鳥選定委員会』で選考します。選考基準は、市内で見ることができる、親しみやすい、自然環境のシンボルとなる害鳥でない、今後も見ることができるなどです。

9 種類の候補鳥

コガモ(冬鳥)：金目川や鈴川、渋田川など身近な水辺で数多く見られる渡り鳥。カモ科の中では最小でかわいらしい。

コサギ(留鳥)：川などの水辺でよく見られ、ねぐらにしている林もある。通称シラサギと呼ばれ、総合公園には鷺塚がある。

コゲエ(留鳥)：雑木林にいる代表的なキツツキ類で里山保全のシンボルになる。最近では公園などでも見られるが、数は少ない。

ツバメ(夏鳥)：軒先に巣を作るおなじみの鳥。市内全域で見られ、丘陵地では牛小屋に巣を作るものが多い。

ハクセキレイ(留鳥)：川や田畑、公園など市内全域で見られる。冬になると馬入橋には 2,000 羽近くが集まりねぐらを作る。

モズ(留鳥)：里山を代表する鳥で、秋に木のこずえにとまってキチキチキチと鳴くその声は「高鳴き」と呼ばれる。

オオヨシキリ(夏鳥)：ヨシ原だけにすむ鳥で、相模川や金目川沿いの休耕田などで見られる。豊かな水辺の指標となる。

エナガ(留鳥)：雑木林の代表的な鳥。全長は約 13 cm で、そのうちの半分は尾なので、体自体はとても小さくかわいい小鳥。

ジョウビタキ(冬鳥)：10 月下旬ごろに渡ってくる冬鳥で、公園や民家の庭先などで見られる。胸の鮮やかなオレンジ色が目立つ。

応募方法は

はがきまたはファックス、電子メールに、平塚市にふさわしいと思う鳥の名前(一種類)と選んだ理由、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記して環境政策課へ

住所 ... 〒254-8688 平塚市浅間町 9-1

FAX ... 0463-21-9603

電子メール ... kankyo-s@city.hiratsuka.kanagawa.jp

また、4月27日(土)から29日(祝)に総合公園で開かれる緑化まつりでは、会場内に応募受付コーナーを開設します。ぜひ、ご応募ください。

応募資格 ... 平塚市内にお住まい、お勤め、通学の方

締め切り ... 4月30日(火)

結果発表 ... 10月1日(火)

問合せ先 ... 環境政策課(内線2266)

高麗山定例探鳥会の参加者の中にも、平塚市に在住、在勤、通学の方が大勢いらっしゃいます。前記の9種類にはこだわらないということです。皆さんの身近な鳥や、市内の自然や環境の保全などを考えて、平塚市にふさわしい鳥を選んで応募してみませんか？もちろん、9種類の中から選んでも結構です。

コアジサシの営巣地造成に参加

4月7日(日)に、小田原市の酒匂川でコアジサシの営巣地造りが行われました。

毎年、春になるとコアジサシが酒匂川に飛来してきます。小石で覆われた河原で営巣して繁殖するのですが、車が入り込んで巣を踏みつぶしたり犬が卵や雛を襲ったりと、安心して営巣できる状態ではありませんでした。8年前に、西湘地区をフィールドとしているグループが小田原市に働きかけて、車や人や犬の入れない中洲に人間の手で営巣地を作ろうという活動が始まりました。去年は繁殖成功率が38%で50羽ほどの雛が巣立ったそうです。今年は50%を目標としたいとグループの代表者から話がありました。行政が一市民グループの活動に協力し、コアジサシを市の鳥に指定するまでにいったという小田原市の支援体制はうらやましくなります。

こまたんは最初の年からこの活動に協力しており今年も17人が参加しました。全参加者数は50人だったので、こまたんが1/3を占めていました。場所は昨年までとは変わって、酒匂川の右岸富士道橋の少し下流の小田原アリーナ前の中洲です。2台の車に分乗して現場に到着した私たちを、曇り空を飛び回るアマツバメヒメアマツバメツバメイワツバメの大群が迎えてくれました。

小田原市長の挨拶の後、架設された中洲への橋を渡り、ゴミ合いから作業開始です。中洲の少し高くなった土の地面に、周辺から集めた石を敷き詰めようという作業です。ヒバリやセッカの声を聞きながら石を集めたり、輪車で運んでいると天気が徐々によくなり青空も見えるようになってきました。汗をかきながら途中休憩なしの2時間の重労働で作業はほぼ終わり最後に雛の隠れ場所になる大きな石や流木を適当に配置し、西湘グループ手作りのコアジサシのデコイ数個を置いて完成しました。雨を心配していたのによい方向に予報が外れて幸先がよく、多くの雛の巣立ちが予感されます。

労働が終わればビールとおにぎり豚汁が待っています。山田さんのハーモニカ演奏のおまけまでついています。ハーモニカの調べを聞きながら、おいしくいただきました。

【お知らせ】

鷹取山 吉沢自然観察会(第43回市民探鳥会)

コース: 東の池 谷戸川 鷹取山 霧降の滝 松岩寺

日時: 2002年5月3日(金 祝日) 9時から午後2時頃に解散の予定、雨天中止

集合: 神奈中バス 生沢バス停そば、東の池 午前9時

JR平塚駅北口地下道入り口階段付近 午前8時(バスで移動します)

注意: 集合場所付近やコースの途中にはお店がありませんので、昼食と飲み物を必ず用意してください。

問い合わせ: 岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

鳥 報

夏鳥がやってきました(初認の記録)

今年も夏鳥が姿を見せ始めました。4月8日までの初認の記録です。

サシバ : 3/30、鷹取山、声のみ確認。4/6、土屋霊園付近、2羽が上空を舞う

アマツバメ : 3/24、鷹取山、1羽、ヒメアマツバメの群れに混ざって飛んでいた。

ツバメ : 3/13、平塚大橋上空、1羽が鳴きながら飛ぶ。その後平塚、大磯の各地に姿を見せた。

イワツバメ : 3/13、花水橋上空、10羽以上が飛び回る。3/14、渋田川 親水公園付近、2羽が上空を飛ぶ。

コチドリ : 3/17、渋田川 湘南車検場付近、1羽が川の上空を鳴きながら飛び回る。3/31、遠藤原の畑地、2羽が耕運機が整地した畑を歩き回っていた。

オオヨシキリ : 3/31、渋田川 大繩橋の少し下流、1羽がヨシの中でさえずる

オオルリ : 4/8、谷戸川、4羽がさえずる

その他にセンダイムシクイの声を聞いたような気がするという情報もあります。

その他の野鳥情報

オオタカ : 吉沢・鷹取山でピーイという声が聞かれる。繁殖中?

ハチクマ : 3/24、鷹取山、1羽が上空を飛翔。

カシラダカ : 3/31、遠藤原、6羽、きれいな夏羽に変わっていた、の黒い顔が目立つ、さえずりも聞かれた。

エナガ : 3/31、吉沢、尾羽が右に曲がった個体を確認、抱卵中の様子

マヒワ : 吉沢、鷹取山で20~40羽くらいの群れが観察されている。

ベニスズメ : 3/16、水辺の楽校、12羽、スズメと一緒に行動。

お知らせ】

定例カウント調査

吉沢 松岩寺 & 土屋 遠藤原 2002年5月4日(土)

生沢 鷹取山 2002年5月11日(土)

午前6時に高麗ハイツ隣の駐車場に集合。12時頃に集合場所に戻ります。雨天中止。

4月から集合時間が変わっています。参加される方はお間違えのないようにお願いします。

5月はアオバト調査のために日にちが変更される場合がありますので、確認してください。

連絡先 : 岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

次回の定例探鳥会は2002年5月12日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第182号 / 4月号 発行所 :こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www2u.biglobe.ne.jp/komatan/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>